

アソカ講話056

テーマ「与えられた環境に意味がある」

組織で働くということは人事異動があるということである。人事異動をどのように捉えるか。私はこう思っている。「与えられた環境に意味がある。自分に一番必要な場所を天は与えてくれる。決められた場所は、天が私に与えてくれた場所と受け取り、感謝する」と。

異動するのは、ご利用者や慣れ親しんだ職員との別れでもあり、寂しさは理解できるが、それが愚痴や不満になると、天が与えてくれた環境に対して文句を言うことになる。

又、自分の思っていたことと違うというのは、思い通りであってほしいということの裏返しであり、謙虚さを失いかけていることでもある。研修や座学、言葉では理解できていても実際になると、動揺するのは「知っていること」と「できる」ということは別次元のものだからだろう。「常に与えられた環境でベストを尽くす、与えられた環境に感謝する」その言葉を実践するチャンスこそ人事異動が自分に来た時である。その時こそ、習ったことを実践するまたとない機会と捉え、実践することで本物の知識・智慧にすることである。環境の変化は、誰の上にも平等に訪れる。大切なのは、それをどう捉え、どう生きるかである。